

The Master Trust Bank of Japan

2016 中間期ディスクロージャー誌



日本マスタートラスト信託銀行株式会社

MASTER TRUST

■ 経営目標

■ 経営理念

お客さまのニーズへの対応

お客さまの信頼と信用を旨とし、国内はもとよりグローバルにお客さまの多様なニーズに対し、的確かつ迅速にお応えする。

適切なリスク管理

たゆまぬ事業の発展と適切なリスク管理により、企業価値の向上を実現すると共に、適時・適切な企業情報の開示を行い、揺るぎない信頼の確立を図る。

資産管理総合サービスの効率的な提供

資産管理業務における新分野の開拓と新技術の開発に積極的に取り組み、最高品質の資産管理総合サービスを効率的に提供する。

社会への貢献

資産管理業務の発展に寄与し、環境に配慮した企業活動を通じ、持続可能な社会の実現に貢献する。

法令等の厳格な遵守と透明性の高い経営

法令やルールを厳格に遵守し、公明正大で透明性の高い経営を行い、広く社会からの信頼と信用を得る。

社員の専門性向上に向けた職場環境の整備

社員が専門性を更に高め、その能力を発揮することができる、機会と職場を提供していく。

■ 経営ビジョン

資産管理業務の新たな発展に貢献し、
資産管理専門銀行として最高のサービスを提供する。

■ 目指すべき姿

最高水準の資産管理総合サービスをグローバルな基準で
効率的に提供するリーディング・カストディバンク

目次

会社概要	1	信託業務に関する指標	9	元本補てん契約のある 信託に係る貸出金のうち 破綻先債権等の額および合計額	25
資料編	3	財務諸表	11	貸出金償却の額	25
平成28年中間期の 事業の概況	3	自己資本の充実状況 (自己資本の構成に関する事項)	17	連結決算の状況	25
財務ハイライト	3	自己資本の充実状況 (定量的事項)	19	金融再生法に基づく 資産査定状況	25
主要な業務の 状況を示す指標	4	有価証券等の時価情報	24	決算公告(写)	26
預金に関する指標	5	貸倒引当金の期末残高 および期中の増減額	25	中小企業の経営の改善 及び地域の活性化のための 取組みの状況	26
貸出金等に関する指標	6	貸出金のうち破綻先 債権等の額および合計額	25		
有価証券に関する指標	8				

■ コーポレートスローガン

Be professional

わたしたち、日本マスタートラスト信託銀行はコーポレートスローガンとして

「Be Professional」を掲げております。

わたしたち、日本マスタートラスト信託銀行は、全ての役職員がこのコーポレートスローガンを共有することにより、社員一人ひとりがマーケットで評価されるプロに成長し、資産管理サービス品質の高度化を推進し、真にお客様に選ばれる資産管理専門銀行を目指しております。

資産管理専門銀行として、
お客様に高い
資産管理サービス品質を
ご提供し続ける

責任

コーポレート
スローガンに込める

3

つの想い

社員一人ひとりが、
プロフェッショナルとして
業務を遂行する
気概や誇りとしての

自覚

社員一人ひとりが、
強い意思をもって
プロフェッショナルとして
目指していく

目標

会社概要

商号および所在地

商号 日本マスタートラスト信託銀行株式会社
The Master Trust Bank of Japan,Ltd.

所在地 〒105-8579 東京都港区浜松町2丁目11番3号(MTBJビル)

銀行代理店 なし

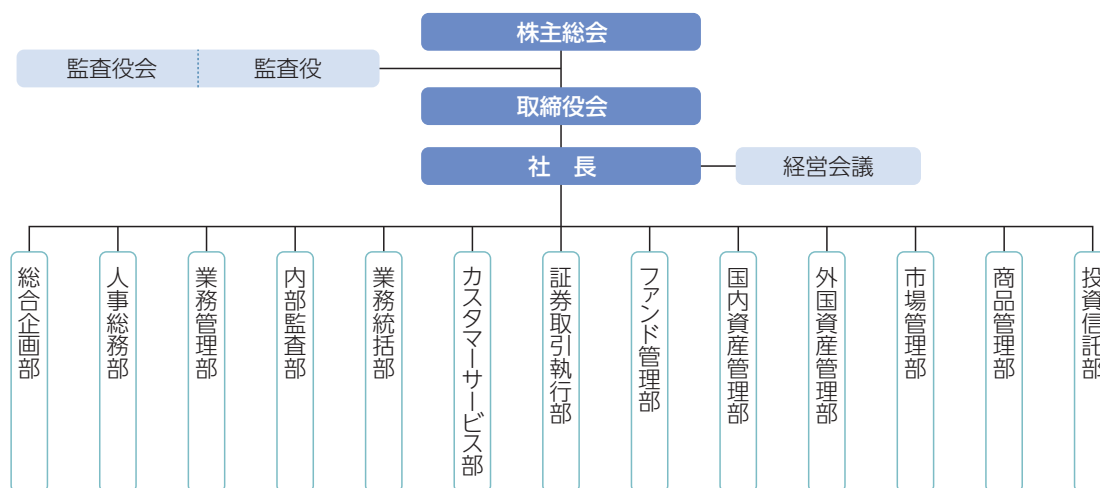
役員 の 状 況

(平成28年12月31日現在)

役職名	氏名	役職名	氏名
代表取締役社長	和地 薫	取締役(非常勤)	甲斐 靖也
代表取締役副社長	宮川 哲也	取締役(非常勤)	浦嶋 良仁
常務取締役	金子 雅俊	監査役	太田 泰司
常務取締役	飯山 研	監査役(非常勤)	坂本 泰邦
取締役	稲岡 和昭	監査役(非常勤)	佐藤 和夫
取締役(非常勤)	庵 栄治		
取締役(非常勤)	横川 直	常務執行役員	奥田 実

組織図

(平成28年12月31日現在)



株主一覽

(平成28年12月31日現在)

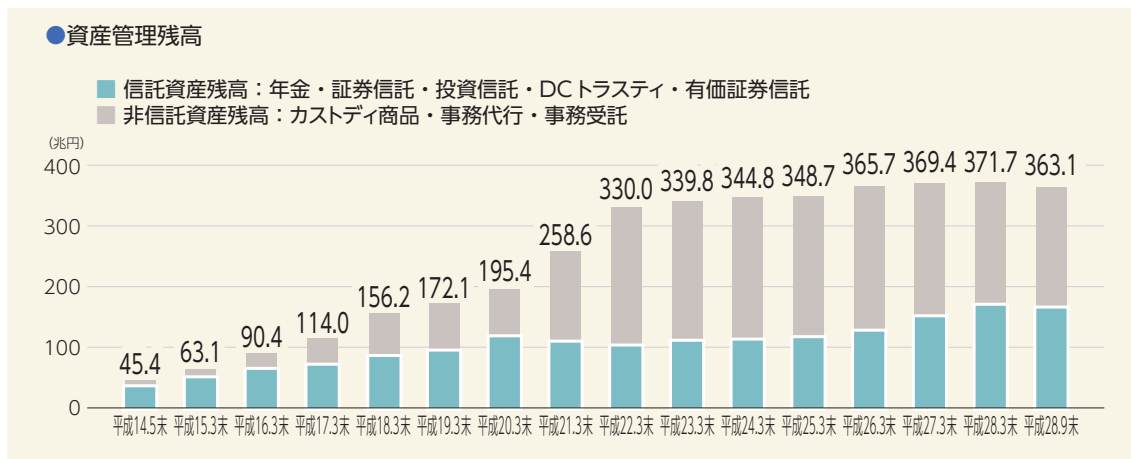
株主名	持株数	持株比率
三菱UFJ信託銀行株式会社	55,800株	46.5%
日本生命保険相互会社	40,200株	33.5%
明治安田生命保険相互会社	12,000株	10.0%
農中信託銀行株式会社	12,000株	10.0%
合計	120,000株	100.0%

■ 格付け

(平成28年12月31日現在)

格付け	長期	短期
日本格付研究所 (JCR)		
スタンダードアンドプアーズ (S&P)		

■ 資産管理残高の状況



■ TOPICS

- 平成28.9 当初証拠金分別管理サービスの開始**
 規制により、信託機能等を利用した保全が必要となったデリバティブ取引の「当初証拠金」について、その分別管理をWEBポータルを利用した指図インターフェース、情報還元機能を利用して可能とするサービスの提供を開始いたしました。
- 平成28.10 CSR活動 ～葛西臨海公園清掃活動～**
 今年度は、葛西臨海公園の清掃活動に104名の社員と、その家族が参加いたしました。
- 平成28.11 外貨による購入・解約が可能な国内籍投資信託の取扱開始**
 国内初となる外貨で直接運用できる国内籍投資信託を設定できるサービスを開始いたしました。
- 平成28.11 MTBJセミナー開催**
 毎年恒例の運用会社様向けのセミナーを開催しました。海外市場の直近動向（上海・深センストックコネクトを通じた中国株投資、パキスタン・UAE市場等）や、店頭デリバティブ規制の概要および実務上の留意点についてご紹介いたしました。



葛西臨海公園での清掃活動

平成 28 年中間期の事業の概況

●金融経済環境

平成 28 年度上半期のわが国経済は、4-6 月期の GDP 成長率はプラス、7-9 月期も一次速報ベースでプラスを維持するなど、全体として緩やかな拡大基調が継続していると考えております。

国内株式市場では、日経平均株価は期初 16,000 円台で始まり、円高の進行、イギリスの EU 離脱などがあり、14,000 円台をつける局面もありましたが、日銀の追加緩和などもあり、期末は 16,000 円台となりました。

国内金利は、日銀の「マイナス金利付き量的・質的金融緩和」の導入を受け、10 年物国債利回りは -0.05% からスタートし、期末は -0.08% での終了となりました。

外為市場では、米ドルは期初 1 ドル 111 円台から取引が始まり、米国利上げ予測の後退、イギリスの EU 離脱などの影響を受け、円高が進行、期末は 1 ドル 101 円台で終了しました。ユーロも期初 1 ユーロ 127 円台で取引を開始しましたが、イギリスの EU 離脱を受け、113 円台まで円高が進みました。

●事業の経過および成果等

時価低下の影響があった一方で、投資信託等におけるお預かり資産が増加し、平成 28 年 9 月末現在の管理資産残高は約 363 兆円となりました。

当中間期の損益は、経常収益 11,939 百万円（前年同期比 842 百万円増）を計上する一方、経常費用については、11,294 百万円（前年同期比 742 百万円増）となりました。

以上の結果、経常利益 644 百万円（前年同期比 100 百万円増）、税引前中間純利益 644 百万円（前年同期比 101 百万円増）、中間純利益 453 百万円（前年同期比 89 百万円増）となりました。

財務ハイライト

（単位：百万円）

	平成 26 年 9 月期	平成 27 年 3 月期	平成 27 年 9 月期	平成 28 年 3 月期	平成 28 年 9 月期
経常収益	11,132	21,913	11,096	22,338	11,939
経常利益	476	863	544	1,096	644
中間(当期)純利益	296	522	363	717	453
信託報酬	9,631	18,953	9,475	19,441	10,560
総資産額	969,499	1,450,058	1,869,635	6,217,917	2,548,169
銀行勘定貸出金	68,004	40,000	39,200	146,933	146,549
銀行勘定有価証券	78,937	90,982	91,995	51,949	22,402
信託財産額	157,861,923	182,047,456	179,810,538	190,113,504	180,903,118
信託勘定貸出金	—	—	—	—	—
信託勘定有価証券	121,571,865	142,602,858	139,669,118	145,388,858	139,248,488
預金	15,882	17,314	20,269	31,025	22,445
純資産額	20,981	21,233	21,464	21,812	22,055
資本金	10,000	10,000	10,000	10,000	10,000
(発行済株式総数)	(120千株)	(120千株)	(120千株)	(120千株)	(120千株)
単体自己資本比率(国内基準)	48.83%	46.71%	47.15%	47.67%	46.72%
従業員数	745人	724人	775人	739人	784人

主要な業務の状況を示す指標

●国内・国際業務部門別粗利益

(単位：百万円)

	平成27年9月期			平成28年3月期			平成28年9月期		
	国内	国際	合計	国内	国際	合計	国内	国際	合計
信託報酬	9,475	—	9,475	19,441	—	19,441	10,560	—	10,560
資金運用収支	119	△0	119	△306	△0	△306	△1,113	△0	△1,113
資金運用収益	183	—	183	45	—	45	△526	—	△526
(国内・国際業務部門間の資金貸借)	(0)	(—)	(0)	(0)	(—)	(0)	(0)	(—)	(0)
資金調達費用	63	0	63	352	0	352	586	0	586
(国内・国際業務部門間の資金貸借)	(—)	(0)	(0)	(—)	(0)	(0)	(—)	(0)	(0)
役員取引等収支	768	—	768	1,756	—	1,756	959	—	959
役員取引等収益	1,369	—	1,369	2,774	—	2,774	1,414	—	1,414
役員取引等費用	600	—	600	1,017	—	1,017	455	—	455
特定取引収支	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定取引収益	—	—	—	—	—	—	—	—	—
特定取引費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他業務収支	—	—	—	—	—	—	481	—	481
その他業務収益	—	—	—	—	—	—	481	—	481
その他業務費用	—	—	—	—	—	—	—	—	—
業務粗利益	10,363	△0	10,363	20,891	△0	20,891	10,888	△0	10,888
業務粗利益率	4.92%	△0.02%	4.92%	2.06%	△0.01%	2.06%	0.71%	△0.00%	0.71%

1. 国内業務部門は円建取引、国際業務部門は外貨建取引を記載しております。

2. 業務粗利益率

業務粗利益÷資金運用勘定平残×100(中間期の場合、上期計算結果を年率換算しております。)

●国内・国際業務部門別資金運用・調達勘定平均残高、利息、利回り

(単位：百万円)

	平成27年9月期			平成28年3月期			平成28年9月期		
	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り	平均残高	利息	利回り
(国内業務部門)									
資金運用勘定	421,148	183	0.08%	1,009,590	45	0.00%	3,056,262	△526	△0.03%
(国内・国際業務部門間の資金貸借)	(317)	(0)		(317)	(0)		(316)	(0)	
資金調達勘定	406,335	63	0.03%	996,892	352	0.03%	3,081,604	586	0.03%
(国際業務部門)									
資金運用勘定	429	—	—	425	—	—	377	—	—
資金調達勘定	317	0	0.03%	317	0	0.01%	316	0	0.00%
(国内・国際業務部門間の資金貸借)	(317)	(0)		(317)	(0)		(316)	(0)	
(全店計)									
資金運用勘定	421,260	183	0.08%	1,009,697	45	0.00%	3,056,324	△526	△0.03%
資金調達勘定	406,335	63	0.03%	996,892	352	0.03%	3,081,604	586	0.03%

1. 資金運用勘定は無利息預け金の平均残高(平成27年9月期：359百万円、平成28年3月期：329百万円、平成28年9月期：5百万円)を控除して表示しております。

2. 全店計は、国内・国際業務部門間の資金貸借取引を相殺して表示しております。

●利鞘

(単位：%)

	平成27年9月期			平成28年3月期			平成28年9月期		
	国内	国際	合計	国内	国際	合計	国内	国際	合計
資金運用利回り (A)	0.08	—	0.08	0.00	—	0.00	△0.03	—	△0.03
資金調達利回り (B)	0.03	0.03	0.03	0.03	0.01	0.03	0.03	0.00	0.03
総資金利鞘 (A)-(B)	0.05	△0.03	0.05	△0.03	△0.01	△0.03	△0.07	△0.00	△0.07

●国内・国際業務部門別受取・支払利息の増減(前年同期比)

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年3月期	平成28年9月期
(国内業務部門)			
受取利息の増減	0	△336	△710
(国内・国際業務部門間の資金貸借)	(△0)	(△0)	(△0)
支払利息の増減	4	230	523
(国際業務部門)			
受取利息の増減	—	—	—
支払利息の増減	△0	△0	△0
(国内・国際業務部門間の資金貸借)	(△0)	(△0)	(△0)
(全店計)			
受取利息の増減	0	△336	△710
支払利息の増減	4	230	523

●総資産経常利益率・資本経常利益率・総資産中間(当期)純利益率・資本中間(当期)純利益率

(単位：%)

	平成 27年 9月期	平成 28年 3月期	平成 28年 9月期
総資産経常利益率	0.06	0.02	0.02
資本経常利益率	5.10	5.09	5.86
総資産中間(当期)純利益率	0.04	0.01	0.02
資本中間(当期)純利益率	3.40	3.33	4.12

1. 総資産経常利益(中間(当期)純利益)率
 $\text{経常利益(中間(当期)純利益)} \div \{(\text{期首総資産(除く支払承諾見返)} + \text{期末総資産(除く支払承諾見返)}) \div 2\} \times 100$
2. 資本経常利益(中間(当期)純利益)率
 $\text{経常利益(中間(当期)純利益)} \div \{(\text{期首純資産の部合計} + \text{期末純資産の部合計}) \div 2\} \times 100$
 (中間期の場合、上期計算結果を年率換算しております。)

預金に関する指標

●預金・譲渡性預金残高

(単位：百万円)

	平成 27年 9月期末	平成 28年 3月期末	平成 28年 9月期末
流動性預金	17,645	24,956	20,553
国内業務部門	17,645	24,956	20,553
国際業務部門	—	—	—
定期性預金	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
その他	2,623	6,068	1,891
国内業務部門	2,623	6,068	1,891
国際業務部門	—	—	—
合計	20,269	31,025	22,445
国内業務部門	20,269	31,025	22,445
国際業務部門	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
総合計	20,269	31,025	22,445
国内業務部門	20,269	31,025	22,445
国際業務部門	—	—	—

1. 流動性預金=当座預金+普通預金+通知預金
2. 定期性預金=定期預金

●預金・譲渡性預金平均残高

(単位：百万円)

	平成 27年 9月期	平成 28年 3月期	平成 28年 9月期
流動性預金	15,960	19,448	23,778
国内業務部門	15,960	19,448	23,778
国際業務部門	—	—	—
定期性預金	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
その他	3,300	4,088	4,602
国内業務部門	3,300	4,088	4,602
国際業務部門	—	—	—
合計	19,260	23,536	28,381
国内業務部門	19,260	23,536	28,381
国際業務部門	—	—	—
譲渡性預金	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
総合計	19,260	23,536	28,381
国内業務部門	19,260	23,536	28,381
国際業務部門	—	—	—

1. 流動性預金=当座預金+普通預金+通知預金
2. 定期性預金=定期預金

●定期預金の残存期間別残高

該当ありません。

貸出金等に関する指標

●貸出金残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
手形貸付	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
証書貸付	39,200	146,933	146,549
国内業務部門	39,200	146,933	146,549
国際業務部門	—	—	—
当座貸越	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
割引手形	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
合計	39,200	146,933	146,549
国内業務部門	39,200	146,933	146,549
国際業務部門	—	—	—

●貸出金平均残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年3月期	平成28年9月期
手形貸付	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
証書貸付	39,589	46,084	151,449
国内業務部門	39,589	46,084	151,449
国際業務部門	—	—	—
当座貸越	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
割引手形	—	—	—
国内業務部門	—	—	—
国際業務部門	—	—	—
合計	39,589	46,084	151,449
国内業務部門	39,589	46,084	151,449
国際業務部門	—	—	—

●貸出金の残存期間別残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
1年以下	39,200	146,933	146,549
うち変動金利	—	—	—
固定金利	39,200	146,933	146,549
合計	39,200	146,933	146,549
うち変動金利	—	—	—
固定金利	39,200	146,933	146,549

●貸出金の担保別残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
有価証券	—	—	—
債権	—	—	—
商品	—	—	—
不動産	—	—	—
保証	—	—	—
信用	39,200	146,933	146,549
合計	39,200	146,933	146,549

●支払承諾残高

該当ありません。

●貸出金の使途別残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
設備資金	—	—	—
運転資金	39,200	146,933	146,549
合計	39,200	146,933	146,549

●貸出金の業種別残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末		平成28年3月期末		平成28年9月期末	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
日本国政府	39,200	100.00%	146,933	100.00%	146,549	100.00%
合計	39,200	100.00%	146,933	100.00%	146,549	100.00%

●中小企業等に対する貸出金残高

該当ありません。

●特定海外債権残高

該当ありません。

●預貸率の期末値および期中平均値

(単位：%)

	平成27年9月期	平成28年3月期	平成28年9月期
(国内業務部門)			
期中平均	205.54	195.79	533.62
期末	193.39	473.58	652.92
(国際業務部門)			
期中平均	—	—	—
期末	—	—	—
(全店計)			
期中平均	205.54	195.79	533.62
期末	193.39	473.58	652.92

有価証券に関する指標

●商品有価証券

当社はいずれの中間期末・年度末においても商品有価証券を保有しておりません。

●有価証券の種類別残存期間別残高

(単位：百万円)

	1年以内	1年超 3年以下	3年超 5年以下	5年超 7年以下	7年超 10年以下	10年超	期間の定め のないもの	合計
平成27年9月期末								
国債	86,567	5,004	—	—	—	—	—	91,571
株式	—	—	—	—	—	—	1	1
その他の証券	—	—	—	—	—	—	422	422
平成28年3月期末								
国債	51,551	—	—	—	—	—	—	51,551
株式	—	—	—	—	—	—	1	1
その他の証券	—	—	—	—	—	—	397	397
平成28年9月期末								
国債	22,045	—	—	—	—	—	—	22,045
株式	—	—	—	—	—	—	1	1
その他の証券	—	—	—	—	—	—	356	356

●有価証券の種類別平均残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期	平成28年3月期	平成28年9月期
(国内業務部門)			
国債	90,858	83,178	43,480
株式	1	1	1
(国際業務部門)			
その他の証券	429	425	377
(全店計)			
国債	90,858	83,178	43,480
株式	1	1	1
その他の証券	429	425	377

●預証率の期末値および期中平均値

(単位：%)

	平成27年9月期	平成28年3月期	平成28年9月期
(国内業務部門)			
期中平均	471.73	353.40	153.20
期末	451.78	166.16	98.22
(国際業務部門)			
期中平均	—	—	—
期末	—	—	—
(全店計)			
期中平均	473.95	355.20	154.53
期末	453.86	167.44	99.81

信託業務に関する指標

●信託財産残高表

(単位：百万円)

科目	平成27年9月期末	(参考)平成28年3月期末	平成28年9月期末
(資産)			
貸出金	—	—	—
有価証券	139,669,118	145,388,858	139,248,488
投資信託有価証券	—	—	—
投資信託外国投資	14,652,535	14,070,282	13,047,851
信託受益権	44,009	5,088,570	3,467,561
受託有価証券	5,921,324	5,625,068	6,013,519
金銭債権	1,245,664	958,878	800,999
有形固定資産	—	—	—
無形固定資産	—	—	—
その他債権	7,107,309	7,725,340	6,632,815
買入手形	—	—	—
コールローン	6,032,806	880,257	3,620,143
銀行勘定貸	1,809,020	6,143,607	2,485,360
現金預け金	3,328,750	4,232,639	5,586,379
その他	—	—	—
合計	179,810,538	190,113,504	180,903,118
(負債)			
金銭信託	25,618,530	25,672,673	23,524,494
年金信託	15,144,529	14,950,257	12,843,522
財産形成給付信託	—	—	—
貸付信託	—	—	—
投資信託	—	—	—
金銭信託以外の金銭の信託	2,991,473	2,843,761	2,670,742
有価証券の信託	9,973,873	9,730,770	9,905,119
金銭債権の信託	—	—	—
動産の信託	—	—	—
土地及びその定着物の信託	—	—	—
地上権の信託	—	—	—
土地及びその定着物の賃借権の信託	—	—	—
包括信託	126,082,132	136,916,039	131,959,238
その他の信託	—	—	—
合計	179,810,538	190,113,504	180,903,118

(注記)

平成27年9月期末	平成28年9月期末
<ol style="list-style-type: none"> 共同信託他社管理財産：該当ありません。 元本補てん契約のある信託の貸出金：該当ありません。 上記信託財産残高には、当社が三菱UFJ信託銀行と職務分担型共同受託方式により受託し資産管理事務を行っている信託財産69,374,168百万円を含んでおります。 	<ol style="list-style-type: none"> 共同信託他社管理財産：該当ありません。 元本補てん契約のある信託の貸出金：該当ありません。 上記信託財産残高には、当社が三菱UFJ信託銀行と職務分担型共同受託方式により受託し資産管理事務を行っている信託財産66,296,408百万円を含んでおります。

●金銭信託等の受託残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
金銭信託	25,618,530	25,672,673	23,524,494
元本	27,760,534	25,732,421	24,517,531
その他	△2,142,004	△59,748	△993,037
年金信託	15,144,529	14,950,257	12,843,522
元本	12,338,495	10,374,017	9,711,088
その他	2,806,033	4,576,240	3,132,434
合計	40,763,059	40,622,931	36,368,017
元本	40,099,030	36,106,439	34,228,620
その他	664,028	4,516,492	2,139,397

財産形成給付信託および貸付信託は、該当ありません。

●元本補てん契約のある信託の種類別の受託残高

該当ありません。

●信託期間別の金銭信託および貸付信託の元本残高

(単位：百万円)

	1年未満	1年以上 2年未満	2年以上 5年未満	5年以上	その他のもの	合計
平成27年9月期末						
金銭信託	1,558,549	1,273,164	4,893,061	20,035,759	—	27,760,534
平成28年3月期末						
金銭信託	1,024,837	1,805,821	4,174,596	18,727,165	—	25,732,421
平成28年9月期末						
金銭信託	1,156,272	1,640,178	3,173,067	18,548,013	—	24,517,531

貸付信託は、該当ありません。

●金銭信託等の運用状況

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
金銭信託			
有価証券	21,957,298	20,904,330	18,998,082
年金信託			
有価証券	11,410,631	10,565,743	10,322,822
合計			
有価証券	33,367,930	31,470,074	29,320,905

財産形成給付信託および貸付信託は、該当ありません。

貸出金は、該当ありません。

●金銭信託等に係る有価証券の種類別の残高

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
金銭信託	21,957,298	20,904,330	18,998,082
国債	5,832,891	4,490,101	4,136,970
地方債	119,390	113,949	103,267
短期社債	177,957	167,984	216,999
社債	815,355	563,170	575,139
株式	2,698,748	2,628,630	2,217,039
その他証券	12,312,955	12,940,493	11,748,665
年金信託	11,410,631	10,565,743	10,322,822
国債	3,584,651	3,248,427	2,832,712
地方債	201,714	177,901	195,156
短期社債	59,988	59,990	197,977
社債	668,697	569,858	552,668
株式	1,521,785	1,313,551	1,228,118
その他証券	5,373,794	5,196,014	5,316,189
合計	33,367,930	31,470,074	29,320,905
国債	9,417,543	7,738,529	6,969,682
地方債	321,105	291,850	298,424
短期社債	237,945	227,974	414,977
社債	1,484,052	1,133,029	1,127,808
株式	4,220,533	3,942,182	3,445,157
その他証券	17,686,750	18,136,507	17,064,854

財産形成給付信託および貸付信託は、該当ありません。

●金銭信託等に係る貸出金の科目別の残高

●金銭信託等に係る貸出金の契約期間別の残高

●担保の種類別の金銭信託等に係る貸出金残高

●用途別の金銭信託等に係る貸出金残高

●業種別の金銭信託等に係る貸出金残高および貸出金の総額に占める割合

●中小企業等に対する金銭信託等に係る貸出金残高および貸出金の総額に占める割合

金銭信託、年金信託、財産形成給付信託および貸付信託とも該当ありません。

財務諸表

●貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	平成27年9月期末	(参考)平成28年3月期末	平成28年9月期末
(資産の部)			
現金預け金	1,729,252	4,233,857	1,533,630
現金	1	0	1
預け金	1,729,251	4,233,856	1,533,628
債券貸借取引支払保証金	—	1,759,392	799,987
有価証券	91,995	51,949	22,402
国債	91,571	51,551	22,045
株式	1	1	1
その他の証券	422	397	356
貸出金	39,200	146,933	146,549
証書貸付	39,200	146,933	146,549
その他資産	8,453	25,068	44,857
前払費用	214	140	219
未収収益	4,483	3,129	5,645
その他の資産	3,755	21,797	38,993
有形固定資産	387	358	342
建物	293	272	254
その他の有形固定資産	93	85	88
無形固定資産	23	20	17
ソフトウェア	13	10	7
その他の無形固定資産	9	9	9
繰延税金資産	323	338	381
資産の部合計	1,869,635	6,217,917	2,548,169
(負債の部)			
預金	20,269	31,025	22,445
当座預金	17,172	24,881	20,479
普通預金	473	74	73
その他の預金	2,623	6,068	1,891
信託勘定借	1,809,020	6,143,607	2,485,360
その他負債	18,645	21,228	18,041
未払法人税等	243	304	309
未払費用	3,405	3,634	3,318
資産除去債務	120	121	122
未払金	14,638	16,839	12,987
その他の負債	236	329	1,303
賞与引当金	81	75	82
退職給付引当金	131	139	150
役員退職慰労引当金	22	28	34
負債の部合計	1,848,171	6,196,105	2,526,113
(純資産の部)			
資本金	10,000	10,000	10,000
利益剰余金	11,381	11,735	12,009
利益準備金	194	194	230
その他利益剰余金	11,187	11,540	11,779
繰越利益剰余金	11,187	11,540	11,779
株主資本合計	21,381	21,735	22,009
その他有価証券評価差額金	82	77	45
評価・換算差額等合計	82	77	45
純資産の部合計	21,464	21,812	22,055
負債及び純資産の部合計	1,869,635	6,217,917	2,548,169

●損益計算書

(単位：百万円)

科 目	平成 27 年 9 月 期	(参考)平成 28 年 3 月 期	平成 28 年 9 月 期
経常収益	11,096	22,338	11,939
信託報酬	9,475	19,441	10,560
資金運用収益	183	45	△ 526
貸出金利息	16	30	5
有価証券利息配当金	13	15	△ 15
コールローン利息	10	23	—
債券貸借取引受入利息	—	20	57
預け金利息	143	△ 44	△ 573
役務取引等収益	1,369	2,774	1,414
受入為替手数料	106	205	96
その他の役務収益	1,262	2,569	1,318
その他業務収益	—	—	481
その他の業務収益	—	—	481
その他経常収益	68	77	8
その他の経常収益	68	77	8
経常費用	10,551	21,241	11,294
資金調達費用	63	352	586
預金利息	0	0	0
コールマネー利息	1	1	—
その他の支払利息	62	351	586
役務取引等費用	600	1,017	455
支払為替手数料	29	57	28
その他の役務費用	571	960	427
営業経費	9,883	19,858	10,251
その他経常費用	3	12	0
その他の経常費用	3	12	0
経常利益	544	1,096	644
特別損失	1	1	0
固定資産処分損	1	1	0
税引前中間(当期)純利益	543	1,095	644
法人税、住民税及び事業税	204	412	220
法人税等調整額	△ 24	△ 33	△ 29
法人税等合計	179	378	191
中間(当期)純利益	363	717	453

●株主資本等変動計算書

平成27年9月期

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金				その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	10,000	168	10,980	11,148	21,148	85	85	21,233
当中間期変動額								
剰余金の配当	—	26	△156	△130	△130	—	—	△130
中間純利益	—	—	363	363	363	—	—	363
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△2	△2	△2
当中間期変動額合計	—	26	207	233	233	△2	△2	230
当中間期末残高	10,000	194	11,187	11,381	21,381	82	82	21,464

(参考)平成28年3月期

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金				その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	10,000	168	10,980	11,148	21,148	85	85	21,233
当期変動額								
剰余金の配当	—	26	△156	△130	△130	—	—	△130
当期純利益	—	—	717	717	717	—	—	717
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△7	△7	△7
当期変動額合計	—	26	560	586	586	△7	△7	578
当期末残高	10,000	194	11,540	11,735	21,735	77	77	21,812

平成28年9月期

(単位：百万円)

	株主資本				株主資本 合計	評価・換算差額等		純資産合計
	資本金	利益剰余金				その他 有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		利益準備金	その他利益剰余金 繰越利益剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	10,000	194	11,540	11,735	21,735	77	77	21,812
当中間期変動額								
新株の発行	—	—	—	—	—	—	—	—
剰余金の配当	—	35	△214	△179	△179	—	—	△179
中間純利益	—	—	453	453	453	—	—	453
株主資本以外の項目の 当中間期変動額(純額)	—	—	—	—	—	△31	△31	△31
当中間期変動額合計	—	35	238	274	274	△31	△31	242
当中間期末残高	10,000	230	11,779	12,009	22,009	45	45	22,055

注記(平成28年9月期)

重要な会計方針

1. 有価証券の評価基準及び評価方法

有価証券の評価は、満期保有目的の債券については移動平均法による償却原価法(定額法)、その他有価証券については原則として中間決算日の市場価格等に基づく時価法(売却原価は移動平均法により算定)、ただし時価を把握することが極めて困難と認められるものについては移動平均法による原価法により行っております。

なお、その他有価証券の評価差額については、全部純資産直入法により処理しております。

2. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産(リース資産を除く)

有形固定資産は、定額法により償却しております。

また、主な耐用年数は次のとおりであります。

建 物 3年～18年

その他 2年～20年

(2) 無形固定資産(リース資産を除く)

無形固定資産は、定額法により償却しております。なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間(5年)に基づいて償却しております。

3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金

貸倒引当金は、予め定めている償却・引当基準に則り、次のとおり計上しております。

一般債権については過去の貸倒実績率等を勘案して必要と認められる額を、貸倒懸念債権等特定の債権については、個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額をそれぞれ計上しております。ただし、当中間期末において貸倒引当金の残高はありません。

すべての債権は、資産の自己査定基準に基づき、業務所管部署の協力の下に資産査定部署が資産査定を実施し、当該部署から独立した資産監査部署が査定結果を監査しております。

(2) 賞与引当金

賞与引当金は、従業員への賞与の支払いに備えるため、従業員に対する賞与の支給見込額のうち、当中間期に帰属する額を計上しております。

(3) 退職給付引当金

退職給付引当金は、従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務の見込額に基づき、当中間期末において発生していると認められる額を計上しております。また、退職給付債務の算定にあたり、退職給付見込額を当中間期末までの期間に帰属させる方法については給付算定式基準によっております。なお、数理計算上の差異の費用処理方法は次のとおりであります。

数理計算上の差異：各事業年度の発生時における従業員の平均残存勤務期間内の一定の年数(16年)による定額法により按分した額をそれぞれ発生翌事業年度から費用処理

(4) 役員退職慰労引当金

役員退職慰労引当金は、役員への退職慰労金の支払いに備えるため、役員に対する退職慰労金の支給見積額のうち、当中間期末までに発生していると認められる額を計上しております。

4. 外貨建の資産及び負債の本邦通貨への換算基準

外貨建資産及び負債は、中間決算日の為替相場による円換算額を付しております。

5. 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を当中間期から適用しております。

注記事項

(中間貸借対照表関係)

- 現金担保付債券貸借取引により受け入れている有価証券のうち、売却又は(再)担保という方法で自由に処分できる権利を有する有価証券はありません。
- 貸出金は、その全額が日本国政府向けであります。
- 為替決済等の取引の担保、中央清算機関差入証拠金および中央清算機関差入保証金の代用として、有価証券17,044百万円及び貸出金28,339百万円を差し入れております。
また、その他の資産には、中央清算機関差入証拠金は32,000百万円、中央清算機関差入保証金は6,200百万円、保証金は727百万円が含まれております。
- 当座貸越契約は、顧客からの融資実行の申し出を受けた場合に、契約上規定された条件について違反がない限り、一定の限度額まで資金を貸し付けることを約する契約であります。これらの契約に係る融資未実行残高は5,300百万円、契約残存期間は1年以内であります。
なお、これらの契約の多くは、融資実行されずに終了するものであるため、融資未実行残高そのものが必ずしも当社の将来のキャッシュ・フローに影響を与えるものではありません。また、契約後も定期的に予め定めている社内手続に基づき顧客の業況等を把握し、必要に応じて契約の見直し、与信保全上の措置等を講じております。
- 有形固定資産の減価償却累計額 1,134百万円

(中間損益計算書関係)

- 預け金利息のマイナスは、日本銀行当座預金のマイナス金利適用に伴い、日銀預け金利息が純額でマイナスになったことによるものであります。

資料編

(中間株主資本等変動計算書関係)

1. 発行済株式の種類及び総数に関する事項

(単位：千株)

	当事業年度期首株式数	当中間会計期間増加株式数	当中間会計期間減少株式数	当中間会計期間末株式数	摘要
発行済株式	120	—	—	120	
普通株式	120	—	—	120	
合計	120	—	—	120	

2. 配当に関する事項

当中間会計期間中の配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額	1株当たり配当額	基準日	効力発生日
平成28年6月28日定時株主総会	普通株式	179百万円	1,493円	平成28年3月31日	平成28年6月29日

(金融商品関係)

○金融商品の時価等に関する事項

平成28年9月30日における中間貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額は、次のとおりであります。

なお、時価を把握することが極めて困難と認められる非上場株式等は、次表には含めておりません(注2)参照)。

(単位：百万円)

	中間貸借対照表計上額	時価	差額
(1)現金預け金	1,533,630	1,533,630	—
(2)債券貸借取引支払保証金	799,987	799,987	—
(3)有価証券			
その他有価証券	22,045	22,045	—
(4)貸出金	146,549	146,549	—
資産計	2,502,212	2,502,212	
(1)預金	22,445	22,445	—
(2)信託勘定借	2,485,360	2,485,360	—
(3)その他負債(*1)	12,784	12,784	—
負債計	2,520,589	2,520,589	—

(*1)その他負債のうち、金融商品で時価開示の対象となるものを表示しております。

(注1)金融商品の時価の算定方法

資 産

(1)預け金は、すべて満期のない預け金であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(2)債券貸借取引支払保証金

債券貸借取引支払保証金は、すべて約定期間が短期間(1年以内)であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(3)有価証券

債券は、主に日本証券業協会が公表する価格によっております。

なお、保有目的ごとの有価証券に関する注記事項については「(有価証券関係)」に記載しております。

(4)貸出金

貸出金は、すべて約定期間が短期間(1年以内)の日本国政府向け貸出金であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

負 債

(1)預金

預金は、すべて要求払預金であり、中間決算日に要求された場合の支払額(帳簿価額)を時価とみなしております。

(2)信託勘定借

信託勘定借は、信託勘定の余裕金を期間の定めなく受け入れるものであることから、要求払預金に準じ、中間決算日における帳簿価額を時価とみなしております。

(3)その他負債

その他負債のうち、未払金については、支払期日までの期間が短期間(1年以内)であり、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額を時価としております。

(注2)時価を把握することが極めて困難と認められる金融商品の中間貸借対照表計上額は次のとおりであり、金融商品の時価情報の「資産(3)その他有価証券」には含まれておりません。

(単位：百万円)

区分	中間貸借対照表計上額
非上場株式	1
非上場外国株式	356
合計	357

これらについては、市場価格がなく、時価を把握することが極めて困難と認められることから時価開示の対象とはしていません。

(有価証券関係)

1. その他有価証券(平成28年9月30日現在)

(単位:百万円)

	種類	中間貸借対照表計上額	取得原価	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	債券	22,045	22,039	6
	国債	22,045	22,039	6
	小計	22,045	22,039	6
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	債券	—	—	—
	国債	—	—	—
	小計	—	—	—
合計		22,045	22,039	6

(税効果会計関係)

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳は、それぞれ次のとおりであります。

繰延税金資産

減価償却超過額	181 百万円
退職給付引当金	45
資産除去債務	37
未払事業税・事業所税	36
業務委託費損金不算入	33
賞与引当金	25
役員退職慰労引当金	10
その他	20
繰延税金資産合計	390
繰延税金負債	
資産除去債務	8
その他有価証券評価差額金	0
繰延税金負債合計	8
繰延税金資産の純額	381 百万円

(1株当たり情報)

1株当たりの純資産額	183,794円79銭
1株当たりの中間純利益金額	3,781円31銭

●財務諸表の正確性及び作成に係る内部監査の有効性について

財務諸表の正確性及び作成に係る内部監査の有効性について

平成28年12月26日

日本マスタートラスト信託銀行株式会社
代表取締役社長 和 地 薫

当社の平成28年4月1日から平成28年9月30日までの第17期中間事業年度に係る中間財務諸表が適正に表示されていること、及び当該中間財務諸表作成に係る内部監査が有効であることを確認いたしました。

自己資本の充実状況(自己資本の構成に関する事項)

当社は、銀行法第14条の2の規定に基づき、銀行がその保有する資産等に照らし自己資本の充実の状況が適当であるかどうかを判断するための基準(平成18年金融庁告示第19号。以下、「自己資本比率告示」という。)に定められた算式に基づいて、国内基準を適用のうえ、単体自己資本比率を算出しております。

自己資本の構成

●自己資本の構成

(単位:百万円)

	平成27年9月期末		平成28年9月期末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
コア資本に係る基礎項目(1)				
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る株主資本の額	21,381		22,009	
うち、資本金及び資本剰余金の額	10,000		10,000	
うち、利益剰余金の額	11,381		12,009	
うち、自己株式の額(△)	—		—	
うち、社外流出予定額(△)	—		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
普通株式又は強制転換条項付優先株式に係る新株予約権の額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額に算入される引当金の合計額	—		—	
うち、一般貸倒引当金コア資本算入額	—		—	
うち、適格引当金コア資本算入額	—		—	
適格旧非累積的永久優先株の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
適格旧資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
公的機関による資本の増強に関する措置を通じて発行された資本調達手段の額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
土地再評価額と再評価直前の帳簿価額の差額の四十五パーセントに相当する額のうち、コア資本に係る基礎項目の額に含まれる額	—		—	
コア資本に係る基礎項目の額(イ)	21,381		22,009	
コア資本に係る調整項目(2)				
無形固定資産(モーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)の額の合計額	4	18	7	10
うち、のれんに係るものの額	—	—	—	—
うち、のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものの以外の額	4	18	7	10
繰延税金資産(一時差異に係るものを除く。)の額	—	—	—	—
適格引当金不足額	—	—	—	—
証券化取引に伴い増加した自己資本に相当する額	—	—	—	—
負債の時価評価により生じた時価評価差額であって自己資本に算入される額	—	—	—	—
前払年金費用の額	—	—	—	—
自己保有普通株式等(純資産の部に計上されるものを除く。)の額	—	—	—	—
意図的に保有している他の金融機関等の対象資本調達手段の額	—	—	—	—
少数出資金融機関等の対象普通株式等の額	—	—	—	—
特定項目に係る十パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
特定項目に係る十五パーセント基準超過額	—	—	—	—
うち、その他金融機関等の対象普通株式等に該当するものに関連するものの額	—	—	—	—
うち、モーゲージ・サービシング・ライツに係る無形固定資産に関連するものの額	—	—	—	—
うち、繰延税金資産(一時差異に係るものに限る。)に関連するものの額	—	—	—	—
コア資本に係る調整項目の額(ロ)	4		7	

(単位：百万円)

	平成27年9月期末		平成28年9月期末	
		経過措置による 不算入額		経過措置による 不算入額
自己資本				
自己資本の額((イ)-(ロ)) (ハ)	21,377		22,002	
リスク・アセット等 (3)				
信用リスク・アセットの額の合計額	14,390		16,241	
うち、経過措置によりリスク・アセットの額に算入される額の合計額	18		10	
うち、無形固定資産(のれん及びモーゲージ・サービシング・ライツに係るものを除く。)	18		10	
うち、繰延税金資産	—		—	
うち、前払年金費用	—		—	
うち、他の金融機関等向けエクスポージャー	—		—	
うち、上記以外に該当するものの額	—		—	
マーケット・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額の合計額を八パーセントで除して得た額	30,939		30,852	
信用リスク・アセット調整額	—		—	
オペレーショナル・リスク相当額調整額	—		—	
リスク・アセット等の額の合計額 (ニ)	45,329		47,093	
自己資本比率				
自己資本比率((ハ)/(ニ))	47.15%		46.72%	

自己資本の充実状況(定量的事項)

1. 自己資本の充実度

●信用リスクに対する所要自己資本の額

(単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
標準的手法が適用されるポートフォリオ	575	649
うち法人等向けエクスポージャー	214	268

信用リスク・アセットは、標準的手法により算出しております。

●マーケット・リスクに対する所要自己資本の額

マーケット・リスク相当額は、自己資本比率告示第39条に基づき不算入としております。

●オペレーショナル・リスクに対する所要自己資本の額

(単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
先進的計測手法	1,237	1,234

オペレーショナル・リスク相当額は、先進的計測手法を使用して算出しております。

(基礎的手法・粗利益配分手法は使用しておりません。)

●単体自己資本比率、単体基本的項目比率及び単体総所要自己資本額

(単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
単体総所要自己資本額	1,813	1,883

当社は、内部格付手法を使用していないため、自己資本比率告示第47条に定める「所要自己資本の下限」の該当はありません。

2. 信用リスク

●信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高及び期中平均残高

(単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
期末残高	1,990,488	2,593,080
期中平均残高	556,603	3,292,660

エクスポージャーの主な種類別の内訳

(単位:百万円)

	平成27年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
期末残高	133,647	91,575	—
期中平均残高	140,979	90,853	—

エクスポージャーの主な種類別の内訳

(単位:百万円)

	平成28年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
期末残高	997,220	22,039	—
期中平均残高	1,491,442	43,468	—

・信用リスクエクスポージャーは信用リスク削減効果勘案前の残高となっております。なお、期中平均残高算出に際し、国債等はすべて担保に供しているのみならず扱っております。

・エクスポージャーの主な種類別の内訳には、中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

●信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高(地域別)

(単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
国内	1,985,189	2,588,774
海外	5,299	4,306
合計	1,990,488	2,593,080

エクスポージャーの主な種類別の内訳(地域別)

(単位:百万円)

	平成27年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
国内	128,644	91,575	—
海外	5,002	—	—
合計	133,647	91,575	—

エクスポージャーの主な種類別の内訳(地域別)

(単位:百万円)

	平成28年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
国内	993,210	22,039	—
海外	4,009	—	—
合計	997,220	22,039	—

- ・信用リスクエクスポージャーは信用リスク削減効果勘案前の残高となっております。
- ・エクスポージャーの主な種類別の内訳には、中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

●信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高(業種別)

(単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
金融・保険業	6,317	804,656
国・地方公共団体	1,928,085	1,729,881
その他	56,085	58,542
合計	1,990,488	2,593,080

エクスポージャーの主な種類別の内訳(業種別)

(単位:百万円)

	平成27年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
金融・保険業	5,002	—	—
国・地方公共団体	108,434	91,575	—
その他	20,210	—	—
合計	133,647	91,575	—

エクスポージャーの主な種類別の内訳(業種別)

(単位:百万円)

	平成28年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
金融・保険業	803,996	—	—
国・地方公共団体	174,888	22,039	—
その他	18,335	—	—
合計	997,220	22,039	—

- ・信用リスクエクスポージャーは信用リスク削減効果勘案前の残高となっております。
- ・「その他」には、業種分類が困難な法人や未収収益等に係るエクスポージャーが該当します。
- ・また、エクスポージャーの主な種類別の内訳には、中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

●信用リスクに関するエクスポージャーの期末残高(残存期間別) (単位:百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
1年以下	125,771	968,575
1年超	5,004	—
期間の定めのないもの	1,859,712	1,624,504
合計	1,990,488	2,593,080

エクスポージャーの主な種類別の内訳(残存期間別) (単位:百万円)

	平成27年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
1年以下	39,200	86,571	—
1年超	—	5,004	—
期間の定めのないもの	94,447	—	—
合計	133,647	91,575	—

エクスポージャーの主な種類別の内訳(残存期間別) (単位:百万円)

	平成28年9月期末		
	貸出金、コミットメント及び その他のデリバティブ以外の オフバランスシートエクスポージャー	債券	OTCデリバティブ
1年以下	946,536	22,039	—
1年超	—	—	—
期間の定めのないもの	50,683	—	—
合計	997,220	22,039	—

- ・信用リスクエクスポージャーは信用リスク削減効果勘案前の残高となっております。
- ・また、エクスポージャーの主な種類別の内訳には、中央清算機関関連エクスポージャーを含みません。

●3ヶ月以上延滞エクスポージャー又はデフォルトしたエクスポージャーの期末残高
該当ありません。

●一般貸倒引当金、個別貸倒引当金、特定海外債権引当勘定の期末残高及び期中増減(地域別)(※) (単位:百万円)

	平成27年9月期末		平成28年9月期末	
		平成27年3月期末比		平成28年3月期末比
一般貸倒引当金	—	—	—	—
個別貸倒引当金	—	—	—	—
うち国内	—	—	—	—
海外	—	—	—	—
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

(※)債務者の所在地ベース

●一般貸倒引当金、個別貸倒引当金、特定海外債権引当勘定の期末残高及び期中増減(業種別) (単位:百万円)

	平成27年9月期末		平成28年9月期末	
		平成27年3月期末比		平成28年3月期末比
一般貸倒引当金	—	—	—	—
個別貸倒引当金	—	—	—	—
うち金融・保険業	—	—	—	—
国・地方公共団体	—	—	—	—
その他	—	—	—	—
特定海外債権引当勘定	—	—	—	—
合計	—	—	—	—

●貸出金償却の額(業種別)
該当ありません。

●標準的手法が適用されるエクスポージャー：リスクウェイト別残高(信用リスク削減手法の効果を勘案後)

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
リスクウェイトが0%	1,948,796	1,748,718
リスクウェイトが2%	—	—
リスクウェイトが10%	—	—
リスクウェイトが20%	35,290	37,528
リスクウェイトが100%	5,780	7,084
リスクウェイトが250%	620	660
合計	1,990,488	1,793,991

(※)うち、海外金融機関向けエクスポージャー(平成27年9月期末：5,002百万円、平成28年9月期末：4,009百万円)は、リスクウェイトの決定にあたり格付を適用しております。

- 自己資本比率告示第79条の5第2項第2号、第177条の2第2項第2号及び第247条第1項の規定により1,250パーセントのリスクウェイトが適用されるエクスポージャーの額
該当ありません。

●信用リスク削減手法が適用されたエクスポージャー

(単位：百万円)

	平成27年9月期末		
	適格金融資産担保	保証	クレジットデリバティブ
標準的手法適用ポートフォリオ	—	—	—

(単位：百万円)

	平成28年9月期末		
	適格金融資産担保	保証	クレジットデリバティブ
標準的手法適用ポートフォリオ	799,089	—	—

●派生商品取引及び長期決済期間取引に関する事項

該当する取引はありません。

●証券化エクスポージャーに関する事項

該当する取引はありません。

3. 銀行勘定の出資等又は株式等エクスポージャー

●上場株式等エクスポージャー及びそれ以外の出資等又は株式等エクスポージャー

(単位：百万円)

	平成27年9月期末		平成28年9月期末	
	中間貸借対照表計上額	時価	中間貸借対照表計上額	時価
上場株式等エクスポージャー	—	—	—	—
上記以外の出資等又は株式等エクスポージャー	423	423	357	357
合計	423	423	357	357

●出資等又は株式等エクスポージャーの売却及び償却に伴う損益の額

(単位：百万円)

	平成27年9月期末				平成28年9月期末			
	売却及び償却に伴う損益の額				売却及び償却に伴う損益の額			
	売却益	売却損	償却		売却益	売却損	償却	
出資等又は株式等エクスポージャー	—	—	—	—	—	—	—	—

●中間貸借対照表で認識され、かつ、中間損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

●中間貸借対照表及び中間損益計算書で認識されない評価損益の額

該当ありません。

4. 銀行勘定における金利リスク

●銀行勘定のリスク量

(単位：百万円)

	日次平均	最大	最小	平成27年9月期末
金利	16	19	13	19
株式・為替	179	195	173	193
全体	196	212	187	212

対象期間：平成27年4月1日～平成27年9月30日

(単位：百万円)

	日次平均	最大	最小	平成28年9月期末
金利	28	45	17	45
株式・為替	182	189	174	176
全体	211	221	201	221

対象期間：平成28年4月1日～平成28年9月30日

VaR法

分散共分散法、保有期間：金利リスク240営業日、株式・為替リスク240営業日

信頼区間：片側99%、観測期間：1,250営業日

最大及び最小欄は、リスクカテゴリー毎及び全体で対象となる日は異なります。

●アウトライヤー基準の状況

	平成27年9月期末	平成28年9月期末
アウトライヤー比率	0.51%	0.33%

金利感応度法

金利ショック幅：保有期間240営業日、観測期間：1,250営業日の1%、99%値

有価証券等の時価情報

●有価証券

(売買目的有価証券)

該当ありません。

(満期保有目的の債券)

(単位：百万円)

平成 27年 9月 期末	種類	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	国債	24	25	0
	小計	24	25	0
合計		24	25	0

(単位：百万円)

平成 28年 3月 期末	種類	貸借対照表 計上額	時価	差額
時価が貸借対照表計上額を超えるもの	国債	24	25	0
	小計	24	25	0
合計		24	25	0

(単位：百万円)

平成 28年 9月 期末	種類	中間貸借対照表 計上額	時価	差額
時価が中間貸借対照表計上額を超えるもの	国債	—	—	—
	小計	—	—	—
合計		—	—	—

(その他有価証券)

(単位：百万円)

平成 27年 9月 期末	種類	取得価額	中間貸借対照表 計上額	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	債券	17,006	17,006	0
	国債	17,006	17,006	0
	小計	17,006	17,006	0
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	債券	74,543	74,539	△4
	国債	74,543	74,539	△4
	小計	74,543	74,539	△4
合計		91,550	91,546	△4

(単位：百万円)

平成 28年 3月 期末	種類	取得価額	貸借対照表 計上額	差額
貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	債券	41,514	41,525	11
	国債	41,514	41,525	11
	小計	41,514	41,525	11
貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	債券	10,001	10,001	△0
	国債	10,001	10,001	△0
	小計	10,001	10,001	△0
合計		51,515	51,526	10

(単位：百万円)

平成 28年 9月 期末	種類	取得価額	中間貸借対照表 計上額	差額
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えるもの	債券	22,039	22,045	6
	国債	22,039	22,045	6
	小計	22,039	22,045	6
中間貸借対照表計上額が取得原価を超えないもの	債券	—	—	—
	国債	—	—	—
	小計	—	—	—
合計		22,039	22,045	6

●金銭の信託

該当ありません。

●デリバティブ

銀行法施行規則第13条の3第1項第5号イからホまでに規定される取引所金融先物等、金融等デリバティブ取引、先物外国為替取引、有価証券先物取引等については、該当ありません。

貸倒引当金の期末残高および期中の増減額

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
一般貸倒引当金			
期首残高	—	—	—
期中増加額	—	—	—
期中減少額	—	—	—
期末残高	—	—	—
個別貸倒引当金			
期首残高	—	—	—
期中増加額	—	—	—
期中減少額	—	—	—
期末残高	—	—	—
合計			
期首残高	—	—	—
期中増加額	—	—	—
期中減少額	—	—	—
期末残高	—	—	—

貸出金のうち破綻先債権等の額および合計額

元本補てん契約のある信託に係る貸出金のうち破綻先債権等の額および合計額

貸出金償却の額

連結決算の状況

いずれも該当ありません。

金融再生法に基づく資産査定状況

(単位：百万円)

	平成27年9月期末	平成28年3月期末	平成28年9月期末
破産更生債権およびこれらに準ずる債権	—	—	—
危険債権	—	—	—
要管理債権	—	—	—
正常債権	39,211	146,941	146,549
合計	39,211	146,941	146,549

決算公告(写)

第17期中間決算公告 (要旨)
 平成28年12月16日
 **日本マスタートラスト信託銀行株式会社**
 東京都港区浜松町二丁目11番3号
 代表取締役社長 和地 薫

中間貸借対照表
 (平成28年9月30日現在)

中間損益計算書
 (平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)
 (単位：百万円)

(資産の部)		(負債の部)		経常収益	
科目	金額	科目	金額	科目	金額
現金預け金	1,533,630	預託勘定借入金	22,445	信託報酬	11,939
債券貸借取引支払保証金	799,987	その他負債	2,485,360	資金運用収益	10,560
有価証券	22,402	賞与引当金	18,041	(うち貸出金利息)	△526
貸出金	146,549	退職給付引当金	82	(うち有価証券利息配当金)	(5)
その他資産	44,857	役員退職慰労引当金	150	役員取引等収益	(△15)
有形固定資産	342	負債の部合計	34	その他業務収益	1,414
無形固定資産	17	(純資産の部)	2,526,113	その他経常収益	481
繰延税金資産	381	資本金	8	経常費用	11,294
		利益剰余金	10,000	資金調達費用	586
		利益準備金	12,009	(うち預金利息)	(0)
		その他利益剰余金	230	役員取引等費用	455
		株主資本合計	11,779	営業経費	10,251
		その他有価証券評価差額金	22,009	その他経常費用	0
		評価・換算差額等合計	45	経常利益	644
		純資産の部合計	45	特別損失	0
資産の部合計	2,548,169	負債及び純資産の部合計	2,548,169	税引前中間純利益	644
				法人税、住民税及び事業税	220
				法人税等調整額	△29
				法人税等合計	191
				中間純利益	453

(注) 1. 国内基準に係る単体自己資本比率 46.72%
 2. 有形固定資産の減価償却累計額 1,134百万円
 3. 担保に供している資産
 有価証券 17,044百万円
 貸出金 28,339百万円
 4. 1株当たりの純資産額 183,794円79銭

信託財産残高表
 (平成28年9月30日現在) (単位：百万円)

資 産		負 債	
科目	金額	科目	金額
有価証券	139,248,488	金 銭 信 託	23,524,494
投資信託	13,047,851	年 金 信 託	12,843,522
信託受益権	3,467,561	金銭信託以外の金銭の信託	2,670,742
受託有価証券	6,013,519	有価証券の信託	9,905,119
金 銭 債 権	800,999	包 括 信 託	131,959,238
その 他 債 権	6,632,815		
コ ー ル オ ー	3,620,143		
銀 行 勘 定 貸 借	2,485,360		
現 金 預 け 金	5,586,379		
合 計	180,903,118	合 計	180,903,118

(注) 元本補てん契約のある信託については、取扱残高はありません。
 (備考) 各表の記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組みの状況

当社は、「資産管理業務の新たな発展に貢献し、資産管理専門銀行として最高のサービスを提供する。」ことを経営ビジョンに掲げ、資産管理業務に特化した金融機関として社会に貢献していく所存です。このため、当社では、中小企業向け貸出および住宅ローンを含め、企業・個人向け貸出は行っていないことから、中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための直接的な取組みは行っておりません。

開示対象項目一覧

銀行法施行規則

1. 概況及び組織に関する事項

- ・大株主一覧

2. 主要な業務に関する事項

- ・直近の中間事業年度における事業の概況
- ・直近の三中間事業年度及び二事業年度における主要な業務の状況を示す指標

経常収益
経常利益又は経常損失
中間(当期)純利益又は中間(当期)純損失
資本金及び発行済株式の総数
純資産額
総資産額
預金残高
貸出金残高
有価証券残高
単体自己資本比率
従業員数
信託報酬
信託勘定貸出金残高
信託勘定有価証券残高
信託財産額

- ・直近の二中間事業年度における業務の状況を示す指標として別表に掲げる事項

① 主要な業務の状況を示す指標

業務粗利益及び業務粗利益率
資金運用収支、役員取引等収支、特定取引収支及びその他業務収支
資金運用勘定並びに資金調達勘定の平均残高、利息、利回り及び資金利ざや
受取利息及び支払利息の増減
総資産経常利益率及び資本経常利益率
総資産中間純利益率及び資本中間純利益率

② 預金に関する指標

流動性預金、定期性預金、譲渡性預金その他の預金の平均残高
定期預金の残存期間別の残高

③ 貸出金等に関する指標

手形貸付、証書貸付、当座貸越及び割引手形の平均残高
貸出金の残存期間別の残高
担保の種類別の貸出金残高及び支払承諾見返額
使途別の貸出金残高
業種別の貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合
中小企業等に対する貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合
特定海外債権残高の五パーセント以上を占める国別の残高
預貸率の期末値及び期中平均値

④ 有価証券に関する指標

商品有価証券の種類別の平均残高
有価証券の種類別の残存期間別の残高
有価証券の種類別の平均残高
預証率の期末値及び期中平均値

⑤ 信託業務に関する指標

信託財産残高表
金銭信託等の受託残高
元本補てん契約のある信託の種類別の受託残高
信託期間別の金銭信託及び貸付信託の元本残高
金銭信託等の種類別の貸出金及び有価証券の区分ごとの運用残高
金銭信託等に係る貸出金の科目別の残高
金銭信託等に係る貸出金の契約期間別の残高
担保の種類別の金銭信託等に係る貸出金残高
使途別の金銭信託等に係る貸出金残高
業種別の金銭信託等に係る貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合
中小企業等に対する金銭信託等に係る貸出金残高及び貸出金の総額に占める割合
金銭信託等に係る有価証券の種類別の残高

3. 業務の運営に関する事項

- ・中小企業の経営の改善及び地域の活性化のための取組の状況

4. 直近の二中間事業年度における財産の状況に関する事項

- ・中間貸借対照表、中間損益計算書及び中間株主資本等変動計算書
- ・リスク管理債権額
- ・元本補てん契約のある信託のリスク管理債権額
- ・自己資本の充実の状況
- ・有価証券、金銭の信託、デリバティブ取引の時価等情報
- ・貸倒引当金の期末残高及び期中の増減額
- ・貸出金償却の額

5. 連結情報

金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則

- ・資産査定の状況

正常債権
要管理債権
危険債権
破産更生債権及びこれらに準ずる債権



日本マスタートラスト信託銀行株式会社

2016 中間期ディスクロージャー誌

日本マスタートラスト信託銀行株式会社

〒105-8579 東京都港区浜松町2丁目11番3号 (MTBJビル)

TEL : 03-5403-5100 (代表) FAX : 03-5403-5098

URL <http://www.mastertrust.co.jp>

※本誌は、銀行法第21条に基づき作成したディスクロージャー誌です。

平成29年1月発行

